塩尻の自動運転の特徴

自動運転に必要な高精度3次元地図を塩尻市で製作

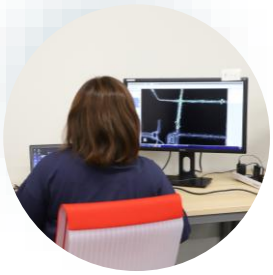
「働きたい誰もが、働ける機会」を提供する仕組み「KADO」。
バックオフィス業務やデータ入力業務のほか、GIGAスクール関連業務などを受注しています。





KADOでは2017年から自動運転用高精度3次元地図を製作し、塩尻市で走る自動運転バスにもKADOで製作された地図が搭載され、地産地消型自動運転の一役を担っています。

また、2026年度のAI学習走行における記録員もKADOが担っています。



歩車混在空間の一般公道でドライバー席無人のバスを運行

2020年度から自動運転事業に取り組んでいます。2024年度には塩尻駅から塩尻市役所までの区間(片道)において、特定自動運行(自動運転レベル4)を実施しました。

一般車両や歩行者等が混在する一般公道において、通常の路線バス並みの速度域で運転席に人を座らせず運行したことは全国初です。





国土交通省資料を基に作成